

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】M-36

申請日	2020/8/11	承認日	2020/8/17	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日		承認者	印

Atezolizumab+Nab-PTX	病名	乳癌	外科	医師名	Dr
<b>対象</b>	PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の切除不能または再発乳癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)												
			1	5	10	15	20	25	30						
テセントリク(アテゾリズマブ)	840mg/Body	div	○			○									
アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)	100mg/m <sup>2</sup>	div	○		○	○									
投与間隔・休薬期間等： 28日=1コース															

## 【投与処方例（前投薬など）】

※テセントリクはインラインフィルターを使用。アブラキサンは、フィルター使用不可なので注意。

day1, 15

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】 生理食塩液250mL+セントリク /div(初回1時間、2回目以降は30分まで短縮可)
- ③ メイン【白】 生理食塩液100mL+デキサート6.6mg /div 30分
- ④ Y側管【水色】 生理食塩液100mL+アブラキサン /div 30分

(アブラキサン 1 V 当たり 20m l で溶解。残りの生食は全て抜き取り、捨てる。空ボトルに溶解後のアブラキサンを必要量抜き取って入れる。)

day8

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】 生理食塩液100mL+デキサート6.6mg /div 30分
- ③ Y側管【水色】 生理食塩液100mL+アブラキサン /div 30分

(アブラキサン1V当たり20m lで溶解。残りの生食は全て抜き取り、捨てる。空ボトルに溶解後のアブラキサンを必要量抜き取って入れる。)

### 【肝機能障害による減量基準】

- ※アブラキサン
- 1.  $1.5 < \text{T-bil} \leq 2.25 \text{mg/dL}$ かつ $\text{AST} < 300 \text{U/L}$  :  $100 \text{mg/m}^2$
  - 2.  $2.25 < \text{T-bil} \leq 7.5 \text{mg/dL}$ かつ $\text{AST} < 300 \text{U/L}$  :  $75 \text{mg/m}^2$
  - T-bil  $> 7.5 \text{mg/dL}$ もしくは $\text{AST} > 300 \text{U/L}$  : 投与不可

### 【副作用による減量基準】

- ※アブラキサン(E法)
- 通常投与量 :  $100 \text{mg/m}^2$
  - 1段階減量 :  $75 \text{mg/m}^2$
  - 2段階減量 :  $50 \text{mg/m}^2$
  - 3段階減量 : 投与中止

参考文献：テセントリク適正使用ガイド

IMpassion130試験